

- 問1 人口が約628万人で、他都県への通勤・通学者数が約80万人と全人口の約12.7%を占めるほど多く、かつ製造品出荷額等の内訳において「石油・石炭製品」が約23.1%で第1位となっている統計データがあります。このデータが示す、千葉県の東京湾沿いに位置する工業地域を何といいますか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 京葉工業地域 2. 瀬戸内工業地域 3. 中京工業地帯 4. 阪神工業地帯
-
- 問2 かつて果樹園が広がっていた「鍋島農場」が、現在のように博物館や学校、多くの住宅が立ち並び「松濤」という地域へと姿を変えた背景にある、都市の機能が拡大し土地利用が変化する現象を何と呼びますか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
1. 情報化 2. 都市化 3. 工業化 4. 過疎化
-
- 問3 国土地理院の発行する地形図において、皇居外苑の南側に位置し、法務省や警視庁といった官公庁の建物に隣接して記載されている歴史的建造物（門）の名称として正しいものを選択してください。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 二重橋 2. 半蔵門 3. 日比谷門 4. 桜田門
-
- 問4 6月から10月にかけてピーマンの出荷量がピークを迎える茨城県など、関東地方の太平洋側に位置する地域の「冬の気候」について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 季節風が山脈に突き当たるため、冬の時期に雨や雪の日が最も多くなる。 2. 一年を通じて降水量が少なく、冬でも月平均気温が常に15度を超える。 3. 北西からの季節風の影響で、晴天の日が多くなり、乾燥した強い風が吹く。 4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい北東の風の影響で、冬は常に霧が発生する。
-
- 問5 東京都中央卸売市場において、キャベツの出荷量のうち関東地方の県が占める割合が40パーセントに達している背景には、どのような農業の特色がありますか。最も適切な説明を選んでください。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 暖かい気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める促成栽培が大規模に行われているため。 2. 広大な土地を活用し、機械化を進めることで、九州地方などの遠隔地から大量に輸送する体制が整っているため。 3. 大消費地である東京に近い利点を生かし、鮮度の高い野菜を供給する近郊農業が盛んであるため。 4. 標高の高い地域の涼しい気候を利用して、夏でもキャベツを栽培できる高冷地農業が発達しているため。
-
- 問6 関東地方に位置する茨城県は、野菜の産出額が約1890億円という非常に高い数値を記録しています。このように、巨大な消費地である東京などの首都圏への近さを活かし、新鮮な野菜を大量に供給する農業の形態を何と呼びますか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. 促成栽培 2. 抑制栽培 3. 近郊農業 4. 施設園芸
-
- 問7 関東地方の各都県の工業について述べた次の文のうち、2011年の統計において製造品出荷額の合計が約11兆9000億円にのぼり、化学や石油・石炭製品、鉄鋼などの重化学工業を主体とする千葉県の特徴を説明しているものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 情報通信機械器具などの電気機械工業の割合が高く、内陸型の工業が発達している。 2. 印刷業や出版業の割合が他県に比べて高く、出荷額合計は約8.9兆円である。 3. 化学・石油・鉄鋼を中心とした大規模な工場が集まり、重化学工業の割合が突出している。 4. 自動車などの輸送用機械の割合が最も高く、出荷額合計は約17.9兆円に達する。
-
- 問8 明治時代に日本の近代化を支えた、群馬県を中心に分布する養蚕・製糸業に関連する世界文化遺産は何か。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 明治日本の産業革命遺産 2. 白川郷・五箇山の合掌造り集落 3. 富岡製糸場と絹産業遺産群 4. 石見銀山遺跡とその文化的景観
-
- 問9 栃木県、群馬県、茨城県の3県にまたがる工業地域の説明として正しいものはどれか。製品出荷額の内訳において、金属、化学、食品などの他業種に比べて機械工業の割合が非常に高く、出荷額の総計が約30兆円規模に達するという特徴がある。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 京葉工業地域 2. 鹿島臨海工業地域 3. 北関東工業地域 4. 京浜工業地帯
-
- 問10 千葉県に位置する成田国際空港が、横浜港や名古屋港などの大規模な海港を抑えて、貿易額（輸出入額）で国内首位となっている理由として最も適切なものはどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. 世界最大のコンテナターミナルを有し、大型貨物船による大量輸送のハブとなっているため。 2. 旅客数が日本で最も多く、入国者が持ち込む免税品の総額が貿易額に含まれているため。 3. IC（集積回路）や医薬品など、小型で軽量かつ高価な製品の取り扱いが多いため。 4. 鉄鉱石や原油といった、日本の産業に不可欠な重量のある資源の輸入拠点となっているため。
-
- 問11 京浜工業地帯において、出版・印刷業や情報通信などの情報サービス機能が高度に集積している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 政治や経済の中枢である東京に位置し、情報の発信地や巨大な消費地が隣接しているため 2. 労働賃金が他の工業地域に比べて非常に低く、労働集約的な産業の維持に適しているため 3. 内陸部に広大な土地が確保されており、大規模な工場の建設が他の地域よりも容易であったため 4. 原料となる木材やパルプの輸入拠点となる大規模な港湾が、この地域にのみ集中しているため
-
- 問12 2015年の統計において、東京都の住宅地の平均地価は1平方メートルあたり323.8千円と、周辺の埼玉県、千葉県、神奈川県に比べて著しく高い数値を示しています。このような状況下で、東京都の「昼間人口」が「夜間人口（常住人口）」を大きく上回り、昼夜間人口比率が118.1%に達している主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 東京都内の大学や事業所が次々と周辺県へ移転したことで、周辺県から都内へ買い出しに来る人が増えたため。 2. 住宅地の平均地価が高い東京都を避け、住居を周辺県に求めながら、都内へ通勤・通学する人が多いため。 3. 周辺県の住宅地の平均地価が東京都を上回ったため、都内に住居を構えて周辺県へ通勤・通学する人が増えたため。 4. 東京都の夜間人口が急激に増加したことにより、相対的に昼間の活動人口が少なく見えるようになったため。
-
- 問13 東北地方の山形県や九州地方の大分県など、他地方の農業県とともに統計資料で取り上げられることがある、関東地方北部の内陸県を答えなさい。この県は、利根川の支流などが流れる平野部での稲作が盛んな特徴を持っている。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 福島県 2. 滋賀県 3. 群馬県 4. 栃木県

答え合わせ・解説

問1	答え 1 京葉工業地域	千葉県の東京湾沿いに広がるこの地域は、1950年代から大規模な埋め立て地が造成され、製油所や製鉄所、火力発電所が建設されました。これにより、国内最大規模の石油コンビナートが形成されたため、石油・石炭製品の割合が非常に高いのが特徴です。また、東京都に隣接していることから、昼間は都心へ通勤・通学する人が多いという人口移動の特色も持っています。
問2	答え 2 都市化	都市の周辺部において、人口の増加や経済活動の拡大に伴い、農地や森林が住宅地や文教地区、商業地などへとつくり替えられる現象を都市化と呼びます。松漣の事例は、かつての広大な農場が都心部の発展に合わせて高級住宅地や美術館などが並ぶ地域へと変容した、土地利用の変化の典型的な具体例として知られています。
問3	答え 4 桜田門	皇居の南側に位置する桜田門は、地形図上では警視庁の目の前に記される重要なランドマークです。江戸城の遺構であるとともに、幕末の大老・井伊直弼が暗殺された「桜田門外の変」の舞台としても知られています。二重橋は正門鉄橋を指し、日比谷門は現在の霞が関方面に近い位置にありました。
問4	答え 3 北西からの季節風の影響で、晴天の日が多くなり、乾燥した強い風が吹く。	茨城県などの関東地方（太平洋側）では、冬は北西の季節風が山を越えてくるため、水分が失われた乾燥した風が吹き、晴天が続くのが大きな特徴です。これに対し、冬に雨や雪が多くなるのは日本海側の気候であり、北東からの冷たい風（やませ）の影響で気温が上がりにくくなるのは東北地方の太平洋側の夏に見られる現象です。農業においては、こうした気候特性を理解することが地域の産業を理解する鍵となります。
問5	答え 3 大消費地である東京に近い利点を生かし、鮮度の高い野菜を供給する近郊農業が盛んであるため。	千葉県や茨城県などの関東地方では、巨大な消費地である東京に隣接しているという地理的条件を活かした「近郊農業」が発展しています。キャベツのように重量があり、鮮度が求められる野菜は、輸送距離が短い近郊地域からの出荷が有利になります。そのため、東京都中央卸売市場の出荷量統計においても、関東地方の占める割合が約4割という高い水準になっています。
問6	答え 3 近郊農業	茨城県は広大な関東平野に位置し、高速道路網などを通じて大消費地である東京へ短時間で農産物を運ぶことができます。このように消費地のすぐ近くで新鮮な農作物を生産し供給する形態を近郊農業と呼びます。野菜は鮮度が重要視されるため、この立地条件は大きな強みとなります。
問7	答え 3 化学・石油・鉄鋼を中心とした大規模な工場が集まり、重化学工業の割合が突出している。	千葉県は、京葉工業地域において原材料の輸入や製品の輸出に便利な臨海部の特性を活かし、化学、石油・石炭製品、鉄鋼の3業種で出荷額の半分以上を占める産業構造を持っています。選択肢にある輸送用機械中心の構成は神奈川県（京浜工業地帯）、印刷業の高さは東京都、情報通信機械の高さは山形県などの特徴に該当します。
問8	答え 3 富岡製糸場と絹産業遺産群	明治政府が設立した官営模範工場である富岡製糸場を中心に、田島弥平旧宅などの養蚕に関わる遺産が含まれます。これらは、日本の生糸を世界に輸出するための技術向上と近代化に大きく貢献しました。
問9	答え 3 北関東工業地域	栃木・群馬・茨城の3県に広がるこの工業地域は、かつての繊維工業から転換し、現在は自動車や電気機器などの機械工業が中心となっています。内陸部に位置しながらも、東京などの大消費地に近い利便性を活かして成長し、京浜工業地帯の出荷額を上回るほどの規模になっています。
問10	答え 3 IC（集積回路）や医薬品など、小型で軽量かつ高価な製品の取り扱いが多いため。	航空輸送は船便に比べて運賃が高いため、短時間で輸送が求められるものや、製品の価値が高いものが優先的に運ばれます。成田国際空港では、パソコンやスマートフォンの部品となるICチップ、精密機械、高額な医薬品などが多く取引されており、これらは単位重量あたりの価格が非常に高いため、貿易総額を押し上げる要因となっています。
問11	答え 1 政治や経済の中枢である東京に位置し、情報の発信地や巨大な消費地が隣接しているため	京浜工業地帯は、本社機能が集まる東京から横浜にかけてのエリアに形成されています。出版・印刷業は、最新の情報を取り扱う必要があるため、出版社や新聞社が集中する都市部に工場を構えることが有利に働きます。また、膨大な購買力を持つ消費者が密集しているため、輸送コストを抑えて製品を供給できるメリットもあります。
問12	答え 2 住宅地の平均地価が高い東京都を避け、住居を周辺県に求めながら、都内へ通勤・通学する人が多いため。	東京都は日本の政治・経済・文化の中心地であり、多くの企業や学校が集中しています。しかし、資料にある通り東京都の住宅地の平均地価は周辺県に比べて非常に高いため、人々は地価の比較的安い埼玉県や千葉県、神奈川県などの周辺県に住居を構える傾向があります。その結果、平日の昼間には周辺県から東京都へ多くの人が通勤・通学のために移動し、昼間人口が夜間人口（常住人口）を上回る「昼夜間人口比率」が高い状態になります。
問13	答え 4 栃木県	栃木県は関東地方を代表する農業県の一つであり、米の産出額などの統計において、山形県や大分県といった各地方の主要な農業県と比較されることがあります。北関東の内陸部という地理的条件を活かし、水田単作地帯だけでなく、園芸農業も発展しています。同じ北関東の内陸県である群馬県は、からっ風を利用した畑作や畜産のイメージが強いのにに対し、栃木県は平野部での安定した米作りが大きな特徴です。